

---

# 平成24年篠山市政10大ニュース

---

篠山市では、年末にあたり、その1年を振り返るとともに、心新たに新しい年を迎えるため、「平成24年篠山市政10大ニュース」を下記のとおり選定しました。

その選定経過は、平成24年の出来事を政策会議構成員（市の幹部職員）で拾い出したうえで、平成24年篠山市政10大ニュース候補（44の出来事）とし、政策会議構成員による投票を行い、その結果をもとにしながら、市長・副市長・教育長で調整し、「平成24年篠山市政10大ニュース」として選定しました。

今回、「平成24年篠山市政10大ニュース」として選定した個々の話題は、それぞれに重要であり、比較すべきものではないとの観点から順位づけは行っていません。

- 1 ゆかりの市町と災害相互応援協定を締結（1月～7月）
- 1 全国初の「桶ツト卓球大会」を開催（2月4日）
- 1 定住促進事業を本格的に実施（4月～）
- 1 新しい市議会議員18人による市議会がスタート（5月1日）
- 1 八上小学校で県内初の大規模木造校舎耐震工事（7月～）
- 1 盛大に第60回丹波篠山デカンショ祭（8月15日～16日）
- 1 大型商業施設での24時間営業規制条例を施行（10月4日）
- 1 創造農村フォーラム in 篠山を開催（10月27日～29日）
- 1 認知症サポーター5,000人を達成（11月15日）
- 1 福住地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定へ（12月）

※ 掲載は時系列順

# 平成24年篠山市政10大ニュース（解説）

※ 掲載は時系列順としています。

## 1 ゆかりの市町と災害相互応援協定を締結（1月～7月）

---

東日本大震災での支援のあり方を踏まえ、篠山市とゆかりのある市町に災害相互応援協定の締結を呼びかけました。平成24年には、岐阜県郡上市・愛媛県愛南町・愛知県犬山市・岐阜県高山市・山形県鶴岡市・高知県宿毛市・山口県萩市・日本六古窯関係市町との間で、それぞれ協定を締結しました。

## 1 全国初の「桶ッ卓球大会」を開催（2月4日）

---

風呂桶をラケット代わりに卓球を楽しむ「全国桶ッ卓球大会」が平成24年2月4日、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷で開催され、市内外から60チーム120人が参加し、熱戦を繰り広げました。サーブのときには「ア～ユ（湯）ー オッケ（桶）ー?」「オッケ（桶）ー!」と元気に声をかけ合うのがルールで、初心者も経験者も慣れない桶ッ卓球に四苦八苦、珍プレーの連続で笑い声が絶えない大会となりました。初代王者には丹波焼の像「フロのヴィーナス」が贈られました。

## 1 定住促進事業を本格的に実施（4月～）

---

定住促進「ふるさと篠山に住もう帰ろう」として、

- ・多紀、城東、畑、西紀北地区への保育園・幼稚園保育料の実質無料化、住宅の新築・改築への助成
  - ・通勤・通学しやすい環境づくりとして、回数特急券の購入に対する助成
  - ・市内の高校に通学する学生への通学費助成
- などの事業を本格的に実施しました。

## 1 新しい市議会議員18人による市議会がスタート（5月1日）

---

任期満了に伴う篠山市議会議員選挙が平成24年4月22日に執行され、市議会議員18人が誕生。同年5月1日には臨時議会が開催され、新しい議員による市議会がスタートしました。

また、平成24年4月1日から、篠山市議会基本条例が施行され、開かれた身近で信頼される議会、市民の負託に応えられる議会をめざして、同年11月以降、地区単位で、順次、議会報告会が開催されています。

## 1 八上小学校で県内初の大規模木造校舎耐震工事（7月～）

---

大規模木造校舎では、兵庫県内で初めてとなる八上小学校の耐震補強工事を本格化しました。同校は昭和12年に建築され、外観が洋風な木造建築で、地域のシンボルとして親しまれ、NHKの朝の連続ドラマ「甘辛しゃん」の主人公が通う小学校のロケ地として選ばれるなど、レトロで伝統を感じさせ、あたたか味のある趣深い校舎です。また、木造校舎は「兵庫県近代化遺産」の1つとして紹介され、既存の木造校舎の意匠や材料、色彩を参考に可能な限り現状復旧を行っています。

## **1 盛大に第60回丹波篠山デカンショ祭（8月15日～16日）**

---

記念すべき第60回丹波篠山デカンショ祭を平成24年8月15日～16日の両日にわたり開催しました。平日にもかかわらず2日間で7万5千人もの多くの方々にお越しいただき、総踊りでは40を超える連が木造ヤグラを囲み、デカンショ、デカンショと輪になって踊りました。

また、特に今年は60回を記念し、篠山市ゆかりのまちから、ゆるキャラにも多数来ていただき、大いに盛りあげていただきました。

## **1 大型商業施設での24時間営業規制条例を施行（10月4日）**

---

篠山市では、地域の良好な生活環境を保全するための適正な事業活動の推進に関するルールづくりをめざし、大型店の深夜営業の自粛を求める「篠山市特定商業施設における適正な事業活動の推進に関する条例」を市議会の議決を経て、平成24年10月4日から施行しました。

## **1 創造農村フォーラム in 篠山を開催（10月27日～29日）**

---

創造農村フォーラム in 篠山を平成24年10月27日から29日までの間、「なつかしいみらい」をテーマに篠山市民センターで開催しました。初日には、全国17大学、21チームの大学生による政策提言の発表会、2日目には第2回創造農村ワークショップによるパネルディスカッション、3日目には現地見学会などが開かれました。

## **1 認知症サポーター5,000人を達成（11月15日）**

---

篠山市では、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として活動する認知症サポーターの養成に平成19年度から取り組んでいます。講座を受講された人には認知症サポーターであることを示す「オレンジリング」を配付しています。

篠山東中学校で平成24年11月15日に開催しました養成講座で目標としていた5,000人を達成しました。

## **1 福住地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定へ（12月）**

---

国の文化審議会は、宿場町の景観を残し、田園風景と一体となり特徴的な歴史的風致を残す福住地区を国の重要伝統的建造物群保存地区として選定するよう文部科学大臣に答申しました。近く、官報告示によって「篠山市福住伝統的建造物群保存地区」が誕生します。